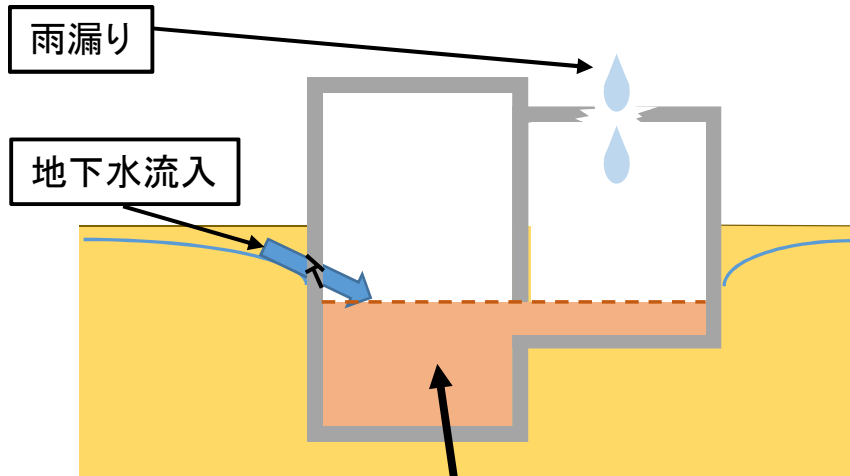


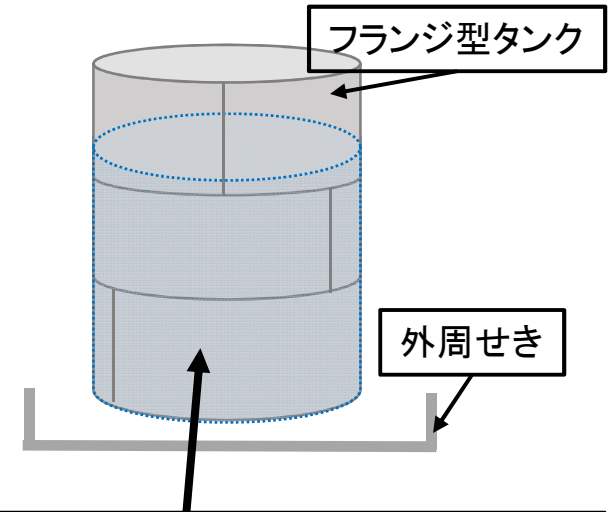
建屋滞留水とフランジ型タンク内多核種除去設備処理済水の比較

建屋滞留水



建屋滞留水中の放射性物質の濃度
セシウム137 : 100,000,000 Bq/L
ストロンチウム90 : 10,000,000 Bq/L
トリチウム : 1,000,000 Bq/L

フランジ型タンク内 多核種除去設備処理済水

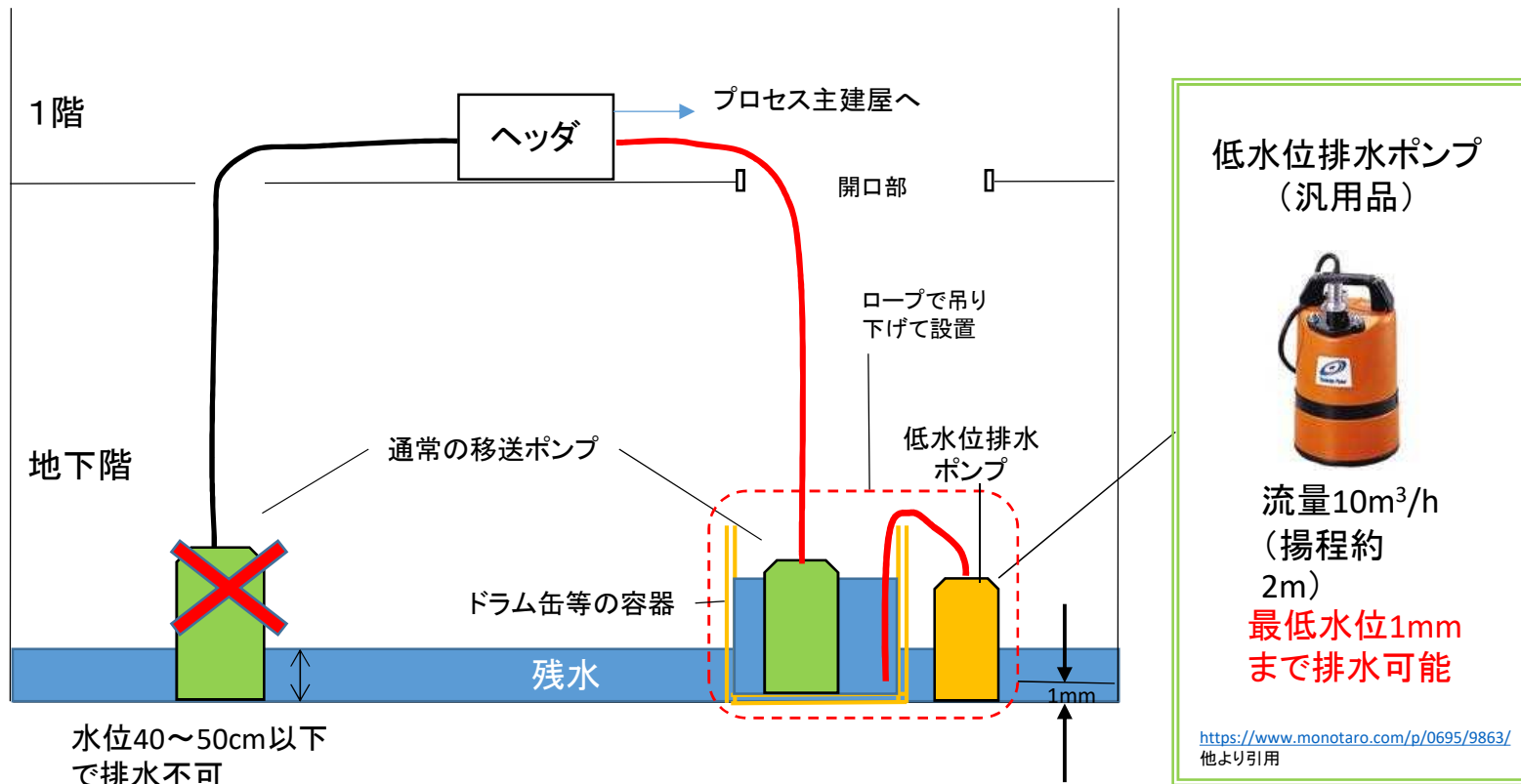


フランジ型タンク内多核種除去設備処理済水中の
放射性物質の濃度
セシウム137 : 0.1 Bq/L
ストロンチウム90 : 0.1 Bq/L
トリチウム : 100,000~1,000,000 Bq/L

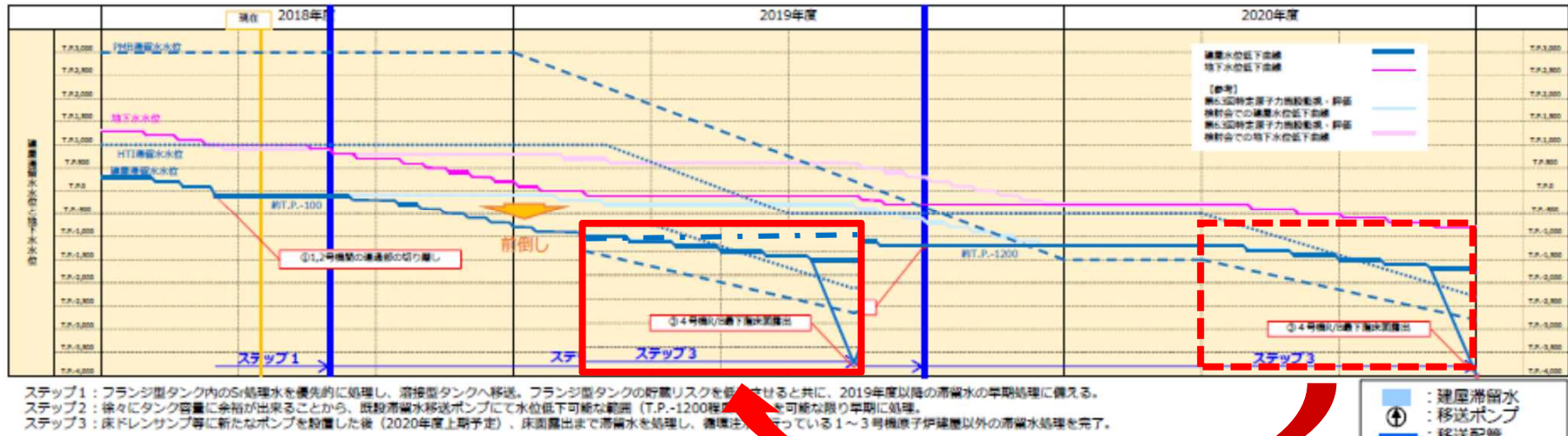
**建屋滞留水中の放射性物質濃度※は、フランジ型タンク内
多核種除去設備処理済水の約1億倍に及ぶ**

※トリチウムは除く

建屋滞留水の残水(水位約50cm以下)の移送方法の例



建屋滞留水の処理ステップ前倒しの検討について



処理ステップを1年半ほど前倒し

建屋滞留水はピット内の残水のみとなり大幅に減少